



飯田高校便り

(校長版)

令和6年3月5日

【第33号】

祝、第76回卒業式！

～「理想は高く智慮深く、精華を挙げん美をなさん」を胸に秘め～



3月1日(金)に第76回卒業式が行われました。当日の朝は、大雪の恐れがあったため、予定を変更して午後開催としました。天候も回復し、暖かな陽の光が差し込む大体育館で、厳粛な卒業式を執り行うことができました。

コロナ禍が収束した今年度は、4年ぶりに規制のない卒業式となり、同窓会やPTAの来賓の方々や多くの保護者そして1、2年の在校生が、普通科

197名、理数科36名、計233名の卒業生の門出を祝いました。

答辞は前生徒自治会長の片桐空翔君が行いましたが、これからの将来に向けての強い決意とともに、これまで育てもらった家族に対する感謝が詰まった心にしみる内容でした。卒業生は、中学校の卒業式、それに続いた本校での3年前の入学式、そして入学後の2年間は、コロナ禍により息が詰まるような学校生活だったと思いますが、高校生活最後の日、卒業生の晴れやかで清々しい表情から、校歌の最後の一節「理想は高く智慮深く、精華を挙げん美をなさん」を胸に秘めて、それぞれの目標に向けて力強く歩んで行ってもらえるものと思いました。



能登半島地震への募金活動、多くの方々の善意に感謝

3月2日(土)、3日(日)の2日間にわたり、本校生徒自治会が中心となり飯伊の高校5校と連携した能登半島地震の被災者支援のための募金活動を行いました。石川県珠洲市に本校と同名の飯田高校があることを縁として発案し、各校にも呼びかけました。飯伊地域の商業施設や農産物直売所など行い、多くの方々が募金に協力していただいた結果、100万円近い募金があったようです。生徒自治会長の佐藤遼君も大変感謝するとともに、今後も持続可能な活動をしていきたいと話してくれました。

ご協力いただいた募金については、少しでも被災者支援に役立ててもらえればとの願いのもと、早速日本赤十字社石川支部に送金しました。能登半島の復旧・復興にはまだまだ時間がかかります。今後も何ができるのかを考えて、息の長い支援活動としてもらえればと思います。

